

学 年

2年

ひき算 ①

年 くみ 名まえ

1 つぎのひき算の、□のなかにあてはまるすう字をかきいれましょう。

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad 5 \square \\ - 22 \\ \hline 35 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \quad \square 6 \\ - 1 \square \\ \hline 64 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \quad \square 1 \\ - 8 \\ \hline 33 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{4} \quad 3 \square \\ - \square 7 \\ \hline 15 \end{array}$$

2

(1) 〈れい〉をさんこうにして、()にじぶんでことばをいれて、 $38 - 25$ のもんだいを作りましょう。そして、答えも出しましょう。

〈れい〉 (赤い色がみ) が38 (まい)、(白い色がみ) が25 (まい) あります。

どちらが なん (まい) おおいですか。

() が38 ()、() が ひっさん
25 () あります。

どちらが なん () おおいですか。

(しき)

(答え) () が () おおい。

(2) (1)をさんこうにして、 $27 - 14$ のもんだいを作って、答えも出しましょう。

_____ ひっさん

(しき)

(答え)

学 年

2年

ひき算 ①

年 くみ 名まえ

1 つぎのひき算の、□のなかにあてはまるすう字をかきいれましょう。

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad 5 \boxed{7} \\ - 22 \\ \hline 35 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \quad \boxed{7}6 \\ - 1 \boxed{2} \\ \hline 64 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \quad \boxed{4}1 \\ - 8 \\ \hline 33 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{4} \quad 3 \boxed{2} \\ - \boxed{1}7 \\ \hline 15 \end{array}$$

2

(1) 〈れい〉をさんこうにして、()にじぶんでことばをいれて、 $38 - 25$ のもんだいを作りましょう。そして、答えも出しましょう。

〈れい〉(赤い色がみ)が38(まい)、(白い色がみ)が25(まい)あります。

どちらが なん(まい)おいですか。

(りんご)が38(こ)、(みかん)が
25(こ)あります。

どちらが なん(こ)おいですか。

(しき) $38 - 25 = 13$

(答え) りんごが 13こおい。

ひっさん

$$\begin{array}{r} 38 \\ - 25 \\ \hline 13 \end{array}$$

(2) (1)をさんこうにして、 $27 - 14$ のもんだいを作って、答えも出しましょう。

カードを、みよちゃんは27まい、

だいちゃんは14まいもっています。

どちらがなんまいおいですか。

(しき) $27 - 14 = 13$

(答え) みよちゃんのカードが、13まいおい。

ひっさん

$$\begin{array}{r} 27 \\ - 14 \\ \hline 13 \end{array}$$

学 年

2年

ひき算 ②

年 くみ 名まえ

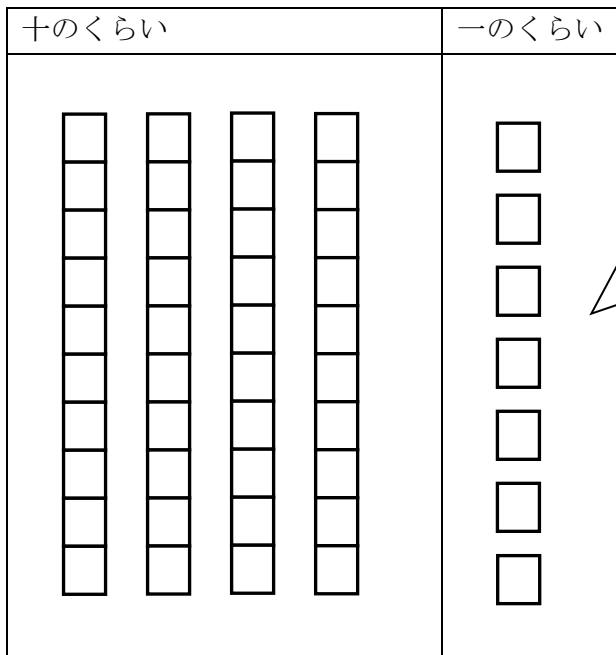
1 みよちゃんは、 $47 - 34$ の計算のしかたをかんがえました。

(1) [] の中にすう字を
いれましょう。

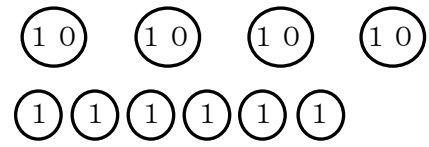
40から30をとって []
7から4をとって []
だから答えは [] です。

(2) 図でもあらわしましょう。

(ひいたぶんの□を せんでけしましょう)



10 1 のように、10の
まとまりで かんがえると…
((2) のもんだいと おなじように
せんで けしてみましよう。)



2 $64 - 37$ の計算をひっ算でします。[]の中に すう字やことばをいれましょう。

(1) 一のくらいの計算は、4から7は ひけないので

ひっさん

[] のくらいから1くり下げる。

$14 - 7 = []$

一のくらいの計算のときに1くり下げたので

$十の位の計算は (6 - 1) - 3 = []$

だから答えは [] です。

64
- 37
<hr/>

学 年

2年

ひき算 ②

年 くみ 名まえ

1 みよちゃんは、 $47 - 34$ の計算のしかたをかんがえました。

(1) []の中にすう字を

いれましょう。

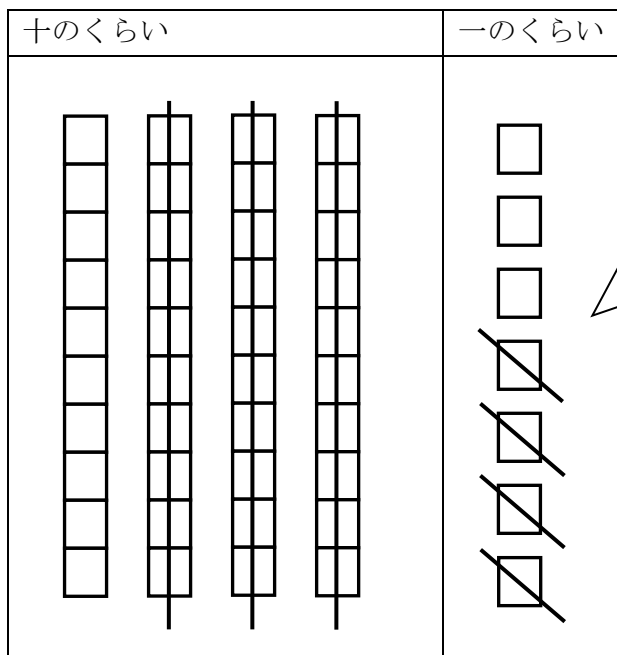
(2) 図でもあらわしましょう。

(ひいたぶんの□を せんでけきましょう)

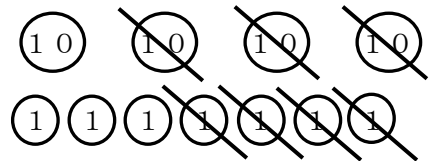
40から30をとって [10]

7から4をとって [3]

だから答えは [13] です。



10 1 のように、10の
まとまりで かんがえると…
(2)のもんだいと おなじように
せんで けしてみましよう。)



2 $64 - 37$ の計算をひっ算でします。[]の中に すう字やことばをいれましょう。

(1) 一のくらいの計算は、4から7は ひけないので

ひっさん

[十]のくらいから1くり下げる。

$$14 - 7 = [7]$$

一のくらいの計算のときに1くり下げたので

$$\text{十の位の計算は } (6 - 1) - 3 = [2]$$

だから答えは [27] です。

$\begin{array}{r} 64 \\ - 37 \\ \hline 27 \end{array}$
--